



「子どもと一緒に時間は意外と少ない。」

「子育ては妻に任せてきた。」

そんな実体験を持つ管理職の皆さんだからこそ、

子どもと過ごせる時間の尊さを理解し、

子育ての素晴らしさに共感できると思うのです。

最新のデータでは、約4割もの男性が「認められなかった」

「賛成してもらえない雰囲気ではなかった」といった理由で

育休取得を断念しています。

つまり、約4割の子どもたちが、父親の育児参加の機会を失い、

約4割の母親が自分のキャリアを断念しているかもしれません。

家族のために、モーレツに働いた皆さん。

家族のために、育休を取りたい子育て世代。

時代と共に愛情のかたちは変わっても、思いは同じです。

当事者だけの力では、男性の育休取得は進みません。

管理職の皆さんの後押しを、ぜひ、お願いします。

愛情のかたちは 変わり続ける。

モーレツ世代から、
男性の育休取得を後押しする世代へ。

お問い合わせ

長崎大学病院メディカル・
ワークライフバランスセンター

あじさいプロジェクト
NAGASAKI AJISAI PROJECT